

第34回北方領土の返還を求める都民大会 会長挨拶案

平成28年1月26日

○ただいまご紹介をいただきました谷茂岡でございます。

○第三十四回北方領土の返還を求める都民大会を開催するにあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。本日は、お忙しいところ、このように大勢の皆様にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

○都民大会には毎年ご来賓として、大変心強い応援団をお迎えいたしております。本年もお国からは、内閣府と外務省にお出でいただいております。また、北方領土問題対策協会からもお出でいただいております。東京都からは政策企画局長、都議会議長、そして都議会各会派の皆さまにもお出でいただいております。ご支援に対しまして御礼を申し上げます。

○本日の講演会では、渡邊修介様にお越しいただき、昨今のロシアの動きを踏まえた、北方領土問題に関する現状についてお話をいただきます。渡邊様は、外務省のご出身で、在ソ連日本国大使館、外務省ロシア課、在ユジノ

サハリンスク日本国総領事等を歴任され、現在は北対協の理事としてご活躍されています。ロシア情勢に大変お詳しく、本日のご講演も興味深いお話がいただけるものと思います。

○また、昨年8月に、東京都の中学生が行った根室への現地視察や、教育関係者によるビザなし交流についても、それぞれの事業参加者から発表がございします。今回の体験を通じて、若い皆さんや先生方が何を感じられたのか、お話を大変楽しみにしております。

○ 昨年は、ソ連による北方四島の占拠から七十年の節目の年でした。ここまで実に長い年月が流れました。この都民会議も昭和五十八年の設立以来、今年で三十三年目となります。

この間（かん）私どもは、日本国政府とソ連そしてロシア政府との交渉を見守りながら活動をしてまいりましたが、残念ながら四島返還という私たちの悲願はいまだ果たされておりません。一日も早く北方四島が日本へ帰ってくることに、そして日露両国の国民同士が、本当に胸襟を開き、信頼関係を持って交流できる日が必ず来ることを信じて、私たちの運動を進めていかなければなら

ない、改めてそのように感じております。

○島を取り戻すまで、私たちは決してあきらめることなく、粘り強く、そして希望を持って、返還運動を推し進めてまいりたいと存じております。どうぞ、皆様方にも引き続き力強いご支援をお願い申し上げます。簡単ではございませんが、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。うございました。